広報こうさ

【こうさの話題】宮内地区敬老会

元気な長寿をくまモンと一緒にお祝い

CONTENTS

●02・特集　上豊内区「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」
●08・こうさの話題　甲佐中生徒が農業体験学習
●12・町からのお知らせ　新規就農者に対して補助金を支給します
●14・私のおすすめ図書　松野 遥さん（糸田区）
●24・Kosa Style　ジャズギタリスト・渡辺 隆介さん（上揚区）

No.543
October 2014
10

上豊内区「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」

地域の美しい魅力と歴史を地図に描いて再発見！

自分たちが暮らす地域の素晴らしさを地図づくり活動を通して再発見

▲上豊内区が「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」活動で制作している「史跡お散歩 MAP」。リーフレットの地図として、上豊内の名所や史跡を写真やイラストで分かりやすく紹介。

●上豊内の美しい風景と歴史を地図づくりの交流活動で再発見

上豊内区（赤星照雄区長99世帯）では、地域住民が共同で活動を行うことで区のコミュニティを活性化し住民の絆（きずな）を深めることを目的として、上豊内の美しい景観や地域に数多く残る名所や史跡などを紹介する「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」の活動に取り組んでいます。

高齢化率が40㌫超える同区では、少子高齢化が深刻化し、地域住民同士の交流も減少している傾向が見られます。また、区で代々受け継がれ古くから続く甲佐神社の鳥居の大しめ縄作りなどの伝統行事も、指導者が高齢化し引き継ぐことが困難になっていくことが心配されています。

そこで、現在の美しい田園風景や地域の歴史を後世に残すとともに、さらに地域の魅力を町内外の人に知ってもらうために、高齢者から子どもまで幅広い世代の地域住民が協力して史跡や観光スポットなどを紹介する地図や案内板を作成しています。

●生まれ育った地域の誇りと宝と絆（きずな）への思いを込めた地図

5月下旬、同区の老人会や子ども会などの代表者や地域の有志などから構成される「かみどい！ふるさと再発見地図づくり」実行委員会（村上邦夫委員長）14人を中心に地図制作を開始。どのような地図を作るかについて、地区の老人会や子ども会とそ

◀区の老人会や子ども会とその保護者などが集まり、地図づくりに関しての意見を出し合い、地域全体で地図づくりに取り組んでいる。

▼「地図づくり」実行委員会で、地図で紹介する上豊内の名所や史跡を協議。

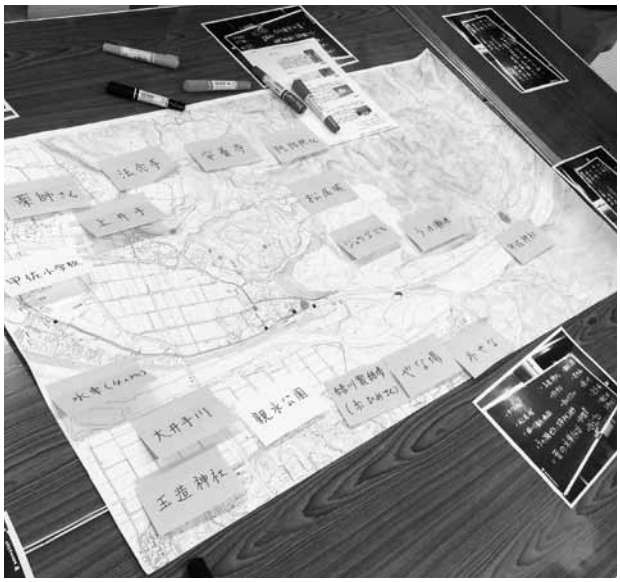
の保護者などが同区公民館に集まってさまざまな意見を出し合いました。

6月から7月にかけて地図に載せる名所や史跡などの現在の状態を確認するために現地調査をし、地図で紹介する写真撮影などに取り組みました。調査の結果を白地図に落とし込んで、紹介するスポットや内容について協議を重ねました。8月から9月には、古くからの歴史や史跡、言い伝えについて知っている高齢者を聞き取り調査したり、子ども目線で見る新しい魅力や働き世代から見る観光面での魅力など幅広い世代に愛用される地図となるように協議したりして、地域を巡りたくさんの情報を集めました。

現在は、集めた地域の情報を同区の地図上にまとめ、観光で訪れた人も地域住民も子どもから高齢者まで、さまざまな活用方法があるリーフレットの地図となるようにレイアウトやデザインの打ち合わせを行っています。今後は、地図の作成と同時に、地域全体を紹介するために地区に設置する案内表示板の制作や名所や史跡を紹介する案内表示板などを設置する予定です。

●地図づくりを通した住民同士の触れ合いがはぐくむ地域の元気

赤星照雄区長は、「上豊内には、松尾城跡を始め史跡が数多く残っており、伝統的な大しめ縄作りなど地域で取り組んでいる伝統的な行事も数多くあります。高齢化が進む地域で、高齢者と子どもが触れ合える



▲上豊内の白地図に名所や史跡を書いたふせんを貼り付けて地域の誇りと自慢と宝を洗い出し。

◀上豊内区の赤星照雄区長。名所や史跡を広くＰＲする地図作りを通して上豊内の地域力を高める活動に取り組む。

コミュニケーションがはぐくむ地域の元気と未来地図

▲「げんき活動サポーター」として町職員も地図づくりに参加し、地域と一緒になって考える上豊内の元気と未来。

▼「地図づくり」実行委員長の村上邦夫さん。上豊内に多く残る貴重な史跡を多くの人に知ってもらうために奮闘。

コミュニケーションの場を作るきっかけとして地図作りに区として活動して、それを基に上豊内を盛り上げたいと思っています。地図と案内表示板ができたら、まずは、この『史跡お散歩マップ』を使ったウォークラリーを来年1月ごろに開催し、区民はもちろん、町内外の人に広く参加していただいて、上豊内の良いところをぜひ発見してほしいです」と語りました。

『地図づくり』実行委員長の村上邦夫さんは、「上豊内には、中世の史跡がたくさん残っていますが、普段目に付かない場所にあったりして気付かれていないものもあります。石造りの樋門など今見ることのできない歴史がたくさんあるので、それを見て回れるような史跡巡りルートを作って、地域の住民に懐かしんでもらったり、やな場で食事をした後に気軽に散策してもらって、周辺にある貴重な史跡たちを見て知ってもらいたいです」と語りました。

美しい風景と大切な歴史を描く地図が地域の元気と未来への挑戦

同区の活動は、県などが進める「くまもと里モンプロジェクト」の助成金などを利用して取り組んでいます。同プロジェクトは、熊本が誇る「里の美しさ」を県民みんなで育て、新しい挑戦として発信していく事業に対して助成するものです。

また、町民と行政が協働のまちづくりを推進し、地域活性化を図る「こうさんもん元気活動推進事業」のモデル事業として、「げんき活動サポーター」の町職員が参加し、地域住民とともに活性化に取り組んでいます。

甲佐町国民健保険の財政が非常に切迫しています

■本町の国民健康保険も医療費が増加しています

医療技術の高度化・高齢化の進展・生活習慣病の患者数の増加などにより、医療費の増加が問題となっていますが、本町の国民健康保険も例外ではありません。

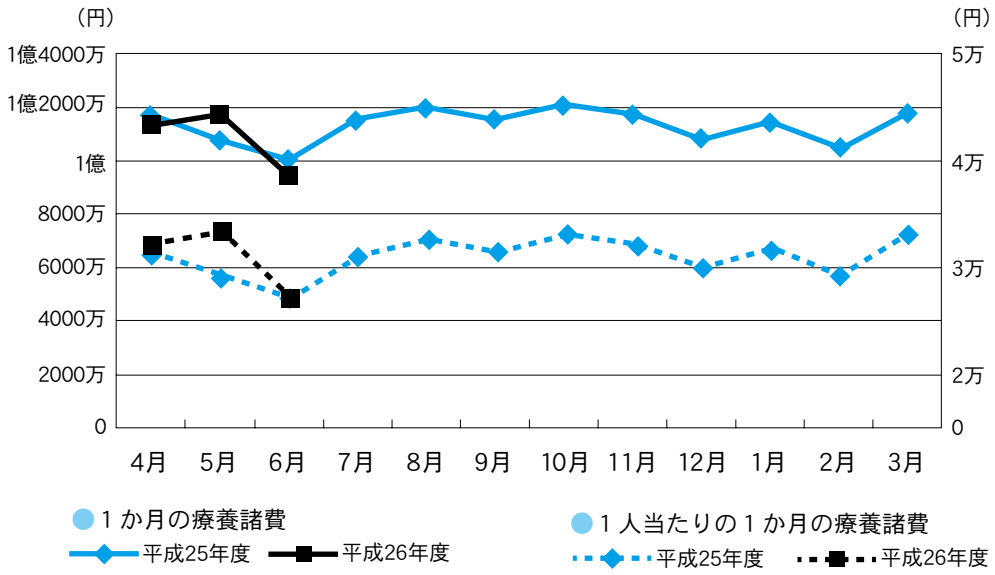
下のグラフは平成25年4月～平成26年6月の町国民健康保険加入者1か月の療養諸費（診療費、調剤、入院時の食事など病院でかかる費用）と同時期の1人当たりの1か月の療養諸費を表しています。

グラフを見ると、国保加入者全体でほぼ毎月1億円以上の医療費が掛かっており、多いときには1億2，000万円近く掛かっています。1人当たりの療養諸費も月平均3万円ほど掛かっており、医療費が高い水準にあることが分かります。

■県内市町村中でも多く医療費が掛かっている本町

平成25年度の国保加入者1人当たりの年間療養諸費の県の平均は約35万4，000円ですが、本町は約36万9，000円。県内市町村の中でも15番目、町村だけでは31町村中9番目に多く医療費が掛かっており、本町が医療費の掛かっている町であるということが分かります。

本町は平成25年度から「高医療費市町村」に指定され、特定健診の受診率向上および保健指導の利用向上に取り組んでいます。このまま医療費の増加により国保財政の悪化が続くと国保税率の引き上げにつながり、家計の負担も増えてしまいます。医療費を増やさないためにも自身の健康に関心を向け、健康づくりに取り組みましょう。



表：1人当たりの年間療養諸費と順位

	1人当たりの年間療養諸費		増　減
	平成24年度	平成25年度	（平成25年度－平成24年度）
甲　佐　町 （市町村順位・町村順位）	35万1000円 （18位・10位）	36万9000円 （15位・9位）	1万8000円増
県　平　均	34万円	35万4000円	1万4000円増

■お問い合わせ先　町住民生活課
096-234-1113（内線 106）　klg204@town.kosa.lg.jp

苦楽を共に歩んできた夫婦の50年

第56回熊日金婚夫婦表彰

9月12日（金）町生涯学習センターで、第56回熊日金婚夫婦表彰が行われました。熊本日日新聞社が主催。今年は、昭和39年に結婚した夫婦38組（うち37組出席）が表彰されました。

式典では、同社社長代理の秋元俊郎事業局長が、表彰者代表の本郷義和さん・晶子さん夫妻（糸田区）に、表彰状と記念品を贈呈。義和さんが「これからも地域のために力を尽くしたい」と謝辞を述べました。

本田 正志 さん ユミ子 さん（下豊内区）

下津 武夫 さん 世美子 さん（西寒野区）

井芹 司 さん 千鶴代 さん（西寒野区）

上妻 毅 さん ひろみ さん（岩下一区）

清永 富士雄 さん 和子 さん（岩下一区）

伊藤 二實男 さん セイ子 さん（岩下一区）

皆本 誠喜 さん 征子 さん（下豊内区）

赤星 良一 さん 充子 さん（緑町区）

渡邊 良成 さん ケサ子 さん（岩下一区）

本山 博 さん 康子 さん（岩下一区）

藤生 信教 さん 照子 さん（岩下一区）

江原 一志 さん 榮子 さん（仁田子区）

美濃部 俊夫 さん 祥子 さん（緑町区）

西村 節二 さん 吉子 さん（緑町区）

杉本 五一 さん 愛子 さん（緑町区）

本田 安 さん
さよ子 さん（中横田区）

田上 勝吉 さん
キミ子 さん（中横田区）

大塚 清市 さん
和子 さん（横田区）

坂下 正男 さん
静子 さん（大町区）

山下 大八郎 さん
トシエ さん（船津区）

春田 隆文 さん
良子 さん（上早川三区）

成松 光規 さん
幸子 さん（浅井区）

江藤 賢 さん
ハツコ さん（下横田区）

川田 茂利 さん
晴美 さん（上田口区）

岩村 辰雄 さん
つる子 さん（南三箇区）

稲葉 龍二 さん
順子 さん（南三箇区）

西本 安幸 さん
浪子 さん（麻生原区）

松永 照善 さん
誠子 さん（府領区）

本田 耕三 さん
伊津子 さん（府領区）

永野 勝 さん
佐知子 さん（下田口区）

成田 紀雄 さん
弘子 さん（上田口区）

本郷 義和 さん
晶子 さん（糸田区）

緒方 紀昭 さん
洋子 さん（糸田区）

溜渕 祐介 さん
セイ子 さん（早川区）

宮本 眞二 さん
チズ子 さん（中早川区）

奥田 一敏 さん
スマ子 さん（吉田区）

中林 伸幸 さん
堯子 さん（芝原区）

渡邊 啓一 さん
好子 さん（山出区）

こうさの話題
Kosa Town Topics

▼収穫したナシの糖度計測を体験し農業の大切さなどについて学ぶ甲佐中生徒

甲佐中生徒が農業体験学習

甲佐町産業後継者育成対策協議会

8月21日（木）～22日（金）甲佐町産業後継者育成対策協議会（本田新会長）が、甲佐中学校（加藤敬之校長257人）1年生を対象とした農業体験学習を開催しました。研修や体験を通して、子どもたちに農業の大切さや収穫の喜びなどを感じてもらうことを目的に毎年開催。今年は20人が参加しました。

第1日は、熊本市の県立熊本農業高校で各施設や農場などを見学し、合志市の県立農業大学校でナシの収穫や糖度計測の体験。同市のJA熊本教育センターでは、食の大切さや食を取り巻く問題などの研修を受講。

第2日は、西原村の「阿蘇ミルク牧場」でウィンナー作りに挑戦した後、地元産の食材を使ったバイキングの昼食や動物との触れ合いを体験しました。

参加した田上凛さん（横田区）は「農業は、思っていたより大変で難しいということが分かりました。とても勉強になりました」と話しました。

宮内の豊かな自然を体感

川平キャンプ場で子どもキャンプ開催

8月26日（火）～27日（水）川平キャンプ場で、夏休み子どもキャンプ「みやうちキャンプだ！ホイ！！」が開催されました。

同キャンプは、NPO法人自然楽舎みやうちが主催するもので、子どもたちに緑川などでの自然を体験してもらうことが目的。

参加した子どもたち12人は、スタッフや地域住民などとキャンプ場周辺の川で沢登りや、カヌーや手作りのイカダで川遊びを体験して豊かな自然と触れ合い、夕食ではバーベキューを楽しみました。

▲川平キャンプ場周辺の川で沢登り体験をする子どもたち

◀地域の安全を守る活動が評価された「ドラ・パト隊」

地域の安全活動に貢献

ドラ・パト隊に県防犯協会などから表彰状

5月に開催された熊本県防犯協会連合会（荒木泰臣会長）平成26年度定時総会で、竜野地区防犯パトロール隊「ドラ・パト隊」が同協会と県警察本部から表彰されました。

同隊は、地域住民で構成される隊員が青色回転灯を取り付けて自主防犯パトロールを行う「青パト」巡回活動や、小・中学生の登校時に路地に立っての見守り活動などさまざまな取り組みを行っています。

発足して5年、現在隊員数は約274人。日ごろの犯罪の予防や青少年の健全育成など、地域の安全活動を積極的に推進したことが評価されての受賞となりました。

大切な川をみんなで守る

くまもと・みんなの川と海づくりデー

９月６日（土）平成26年度「くまもと・みんなの川と海づくりデー」緑川流域一斉美化清掃活動が実施されました。

県、町などが主催。県内の川と海を守って次代に引き継ぐことを目的に開催され、町内では、甲佐中の生徒75人を含む約200人が参加しました。

参加者は、中甲橋グリーンパーク、麻生原運動公園、津志田河川自然公園、安津橋周辺の４会場で、空き缶、空き瓶など約240㌔のごみを収集し、種類ごとに分別しました。

▲麻生原運動公園で収集したごみを分別する参加者

◀町内の団体や住民から選出された委員で構成

安全安心な町を目指して

町安全・安心まちづくり推進協議会

８月29日（金）町生涯学習センターで、町安全・安心まちづくり推進協議会（竹村浩二会長）が開催されました。

同協議会は、町民が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的として制定された「町安全で安心なまちづくり条例」において総合企画およびその推進を審議するために設置されるもので、あゆまつりの夜間パトロールなどの活動に取り組んでいます。

会議では、御船警察署生活安全課の森尾洋之係長が「甲佐町の犯罪情勢等について」という演題で講話を行い、参加した同委員に本町の犯罪の現状について説明し注意を促しました。

童話を通じて豊かな人間性を育てる

平成26年度甲佐町童話発表会を開催

▲町内の各小学校から８人の児童が出場した町童話発表大会。最優秀賞は、渡邊くん（前列左から２番目）と大瀧さん（同４番目）が受賞

９月２日（火）甲佐小学校で、平成26年度町童話発表大会が開催されました。

同大会は、児童が童話に親しんだり創作活動を活発にしたりする機会を設けることで、読書意欲の向上を図り、豊かな人間性を育成することを目的に、町教育委員会と町公民館が主催。町内の各小学校から選ばれた８人の児童が出場し、甲佐小（清村勢津子校長１７９人）の児童や保護者、地域住民などの聴衆の前で、伸びやかで表現力豊かに童話を発表しました。

審査員は、童話の内容を理解し聴き手に分かりやすく表現されているかなどを、総合的に審査。最優秀賞には、『半日村』（斎藤隆介作・滝平二郎絵）を発表した大瀧結衣さん（龍野小５年・上早川二区）と、『ちえちゃんのおはじき』（山口節子著）を発表した渡邊伊吹くん（甲佐小６年・岩下一区）が選ばれました。

２人は町代表として、９月11日（木）嘉島町で開催された郡大会に出場し、練習の成果を発揮しました。

４町合同で交通安全運動

秋の全国交通安全運動出発式

９月19日（金）御船町カルチャーセンターで、平成26年秋の全国交通安全運動御船警察署管内４町合同出発式が開催されました。

本運動は、地域住民の交通安全への意識を高め、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を身に付けるとともに、交通事故防止の徹底を図ること目的に、御船署管内の４町が合同で実施するもの。

本町では、９月25日（木）に熊本バス車庫前で交通安全街頭キャンペーンが行われ、通行する車の運転手に安全運転を促しました。

▲御船署管内の４町が合同で開催した出発式

◀コーチやロアッソくんと記念撮影する参加児童

ボールを蹴って楽しもう

ロアッソ熊本・子どもサッカー教室

９月13日（土）甲佐小学校グラウンドで、ロアッソ熊本による子どもサッカー教室が開催されました。

同教室は、ロアッソと県下市町村などが共同で県内地域の元気づくりのために取り組む「火の国もりあげタイ！」活動の一環として、同クラブ、熊本日日新聞が共催。

町内の小学生などを対象として教室は開催され、アカデミー・コーチが指導。約50人が参加してパスやトラップなどの基本技術を練習した後、同クラブのマスコット「ロアッソくん」らも参加してのミニゲームも楽しみました。

環境を守って豊かな暮らし

「こうさ環境フェア2014」を開催

▲環境に関するブースが並ぶ出展コーナーでは、エコについてのクイズや浄化槽による水の浄化のしくみをパネルや模型などで紹介

９月20日（土）町生涯学習センターで、「こうさ環境フェア２０１４」が開催されました。

環境問題に関心を持つことで日常生活を見直し、環境保全の取り組みを実践するきっかけを作ることを目的に、町と町教育委員会が主催。環境に関する講演や展示、スタンプラリーなどが行われ約140人が参加しました。

講演会では、ＮＰＯ法人くまもと温暖化対策センター顧問の宮原美智子さんが、「私たちのくらしや未来を考える～身近にできるエコ」と題して講演。今現在起きている環境問題について考え、日常生活の中で身近にできる環境保全から行動することの大切さを訴えました。

町内の各小学校は壁新聞などで、リサイクルや川の環境などの学習成果を発表。環境に関する活動や取り組みを紹介するブースが多数設けられました。

また、緑川への思いや願いを作品にすることで、環境を大切にする心を育てることを目的とした環境教育啓発作品の表彰や、グリーンカーテンコンテストの表彰なども行われました。

▼今まで大切に育ててきたホタルの幼虫を竜野川に放つ龍野小４年生の児童

ホタルの光であふれる川へ

龍野小児童がホタルの幼虫を竜野川に放流

９月11日（木）龍野小学校（佐藤浩介校長125人）の４年生（元村祐太朗教諭16人）が、ホタルの幼虫を竜野川に放流しました。

同小では、今年６月から環境学習の一環として、ホタルの飼育に挑戦。児童たちに環境保全や生命の大切さを学んでもらうことを目的に、熊本県自然環境研究会代表の小林修さんや竜野地区の地域住民たちで結成された「たつのホタル会」（金森徹代表）の指導の下、ホタルを卵から幼虫、成虫になるまで育てる取り組みを行っています。

竜野川で捕獲した成虫から卵をふ化させ、水槽の中で餌を与えたり、水温を調整したりして育ててきました。

児童たちは、約３㍉に成長したホタルの幼虫約900匹をやさしく放流し、「大きくなって帰ってきてね。来年たくさん光ってね」と声を掛けました。

残りの約50匹の幼虫は、児童たちの手で成虫になるまで育てて観察を続けていく予定です。

リサイクルで町をきれいに

乙女小学校で環境出前講座

９月８日（月）乙女小学校（岡本秀夫校長113人）で、４・５年生を対象とした環境出前講座が開催されました。

同講座は、子どもたちに身の回りのごみに関心を持つことによって地域の環境保全を推進することを目的に、熊本県産業廃棄物協会が主催。同会青年部10人が家庭から出たごみがどのように廃棄されているのかを説明し、ごみ収集車を操作して収集する体験学習を実施しました。児童たちは「環境のことを考えて、きちんと分別したい」と話しました。

▲収集車でごみを収集する様子を見学する乙女小児童たち

◀甲佐小４年生の児童たちとゲームで触れ合う参加者

いつまでも元気でいてね

宮内地区敬老会で甲佐小児童と交流

９月10日（水）宮内地区社会教育センターで、宮内地区敬老会が開催されました。

宮内地区社会福祉協議会（西坂和洋会長）が主催。地域の高齢者など約100人が参加し、甲佐小学校４年生とくまモン体操を踊ったり、歌や体を動かすゲームなど楽しんだりして触れ合いました。児童たちは「おじいちゃん、おばあちゃんたちとゲームができて楽しかった」と話しました。

最年長の参加者に贈られる「最高年齢賞」に、男性は91歳の田上定さん（本坂谷区）、女性は95歳の増田冨美さん（上揚区）が表彰され、80歳以上の参加者には花束が贈呈されました。

農業

新規就農者に対して補助金を支給します

詳しくは町産業振興課にお問い合わせください。

■「青年就農給付金」受給対象者の募集について

「青年就農給付金」とは、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ることを目的として、国から新規就農者に対して給付金を支給する制度です。

●青年就農給付金「経営開始型」

【内容】
農業を始めてから経営が安定するまでの期間（最長5年間）に給付するもの

【給付額】
150万円／年（最長5年間）

【受給者資格】
・独立または自営就農時点の年齢が、原則として45歳未満（平成22年4月以降の独立または自営就農が対象）
・前年の所得が250万円未満（初年度を除く）

【受給要件】
・就農される集落の「人・農地プラン」に位置づけられること。
・農地の所有権または利用権を給付対象者が有していること。
・主要な機械・施設を給付対象者が所有または借りていること。
・生産物や生産資材などを給付対象者の名義で出荷・取引すること。
・給付対象者の農産物などの売上などの経営収支について、給付対象者名義の通帳および帳簿で管理すること。

●青年就農給付金「準備型」

【内容】
県が指定した農業研修機関で研修を受ける場合、研修期間などに必要な準備金を給付するもの

【給付額】
150万円／年（最長2年間）

◎青年就農給付金には、記載した要件以外にも条件や制限があります。詳しいことは町産業振興課までお問い合わせください。

【受付期間】
随時受け付けます。

町産業振興課　TEL096-234-1176（内線157）　✉klg207@town.kosa.lg.jp

農業

農機具導入補助要望を募集します

対象要件などを確認の上、申請してください

■平成27年度新規要望を受付

町では、甲佐町農機具導入補助事業に伴う、平成27年度新規要望を次のとおり受け付けます。

●申請期限
10月31日（金）

●提出書類
・要望調査表（町産業振興課に備え付けてあります）
・参考見積書
・導入する農機具のカタログ

●対象要件など

【補助率】
補助対象経費の10分の4以内（280万円を上限とする）

【補助対象事業者】
・町内で農業を営む生産者集団（受益戸数は3戸以上で、認定農業者を1戸以上含む）
・農業生産組合
・集落営農組織
・農業生産法人など（農業経営を行う法人）

【補助対象内容】
農業経営に必要な農業機械およびその周辺機器（農業用施設は対象外です）

【要件】
・県特定高性能農業機械導入計画における農機具の機種ごとの利用規模に見合った性能であること
・対象事業者の組織および運営の規約の定めがあること
・導入機械の事業費が1機種30万円を越えていること
・導入機械に稼動実績がないこと
・次期機械更新のための更新準備金として、積立を実施する組織であること

▼申請・お問い合わせ先
町産業振興課
TEL096-234-1176（内線157）
✉klg207@town.kosa.lg.jp

町産業振興課　TEL096-234-1176（内線157）　✉klg207@town.kosa.lg.jp

国民年金

国民年金からのお知らせです

詳しくは町住民生活課にお問い合わせください

■納付期限までに国民年金保険料を納めましょう

平成26年4月分から平成27年3月分までの国民年金保険料は、月額15，250円です。

保険料は、日本年金機構から送付される納付書で、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで納めることができます。また、クレジットカードによる納付や、便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、保険料を納期限までに納めていただけない人に対して、電話や書面、面談により早期に納めていただくよう案内を行っています。

未納のまま放置されると強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課されるだけでなく、財産を差し押さえることがありますので、早めの納付をお願いします。

■「年金相談の予約制度」をご利用ください

熊本東年金事務所での年金の給付請求や支払い、各種届書などの相談は、待ち時間のかからない「年金相談予約」がお勧めです。

【予約時間帯】

・月曜日(休日の場合は翌営業日)
午前8時30分～午後4時30分・午後5時～午後6時

・火曜日～金曜日
午前8時30分～午後4時30分

・毎月第2土曜日
午前9時30分～午後3時30分

【予約申し込み電話番号】

TEL 096-367-2503
(熊本東年金事務所お客様相談室)

※予約受付時間は午前8時30分～午後5時です

※土・日曜日・祝日、12月29日(月)1月3日(土)を除きます。

※予約時には「基礎年金番号」「相談者および配偶者氏名」「電話番号」「相談内容」などを確認します。

町住民生活課　TEL096-234-1113（内線104）　klg102@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

■育児に励む「イクメン」などの男性の皆さんをご紹介

男性の皆さんに、男女共同参画について考えていただくために、「家事男（カジダン）」、「育爺（イクジイ・孫の育児を手伝うおじいさんのこと）」、「イクメン（育児に励む男の人のこと）」の皆さんをご紹介します。

■相手の立場を尊重しできることをやることが大事

男女共同参画社会を考えるとき、思い出す言葉があります。それは、私が学生時代に中国を旅した際の通訳ガイドの「現在の中国の天を支えているのは2本の柱です。1本は男、もう1本は女です」という言葉です。互いに尊重することで国（社会）が成り立つことを教えてくれました。中国は解放政策が始まる前で、日本でも「男女雇用機会均等法」が施行されたばかりのころです。男社会にどっぷり浸かって生きていた私は、新鮮な驚きと共に感銘を受けました。

わが家は共働きなので、私も家事を一通りはこなすことができるようになり、食後の片付けは定番の担当になっています。子育てもラストスパート、介護も家族で協力して乗り越えました。これからも職場や家庭で相手の立場を尊重しながら、どうすれば喜んでもらえるかを考え、またその喜びの姿に自分の悦びを見出していきたいと思います。肩肘張らずに、できることをできる範囲でやることが大事なことだと思います。（H・T）

家事や子育てに奮闘する男性をご紹介⑧

食器の片付けは私の定番の担当

■家事や子育てに奮闘する様子をご紹介させてください

男性の皆さんが日ごろの家事や子育てに奮闘されている様子を、ぜひ『広報こうさ』でご紹介させてください。

※応募する際は、写真および子育てについての意見などを町総務課までご提出ください。

町総務課　TEL096-234-1140（内線223）　klg202@town.kosa.lg.jp

Library

町生涯学習センター図書室からの10月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL096-234-2447（内線331）
✉klg110@town.kosa.lg.jp

勇気と希望をもたらす冒険群像活劇

宮部 みゆき著 /『荒神』

時は江戸時代の元禄、東北の山間の仁谷村が一夜にして壊滅状態となる。隣り合う二藩の因縁、奇異な風土病をめぐる騒動…。不穏さをはらむこの土地に「怪物」は現れた。恐るべき怪物の正体とは、一体何か。人々はそれぞれの力を結集し、「災い」に立ち向かう。魅力的な登場人物たちとすさまじいほどの描写に、ぐいぐい引き込まれる１冊です。

朝日新聞社
小説

従業員が紙の本のために力を尽くす

佐々 涼子著 /『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』

「この工場が死んだら、日本の出版は終わる…」。2011年３月11日、宮城県石巻市の日本製紙石巻工場は津波に呑み込まれ、完全に機能停止した。食料も入手困難、電気、ガス、水道も復旧していない中、工場長は半年での工場の復興を宣言する。震災の絶望から、工場の復興までを徹底取材した傑作ノンフィクション。感動の１冊です。

早川書店
一般書

少女の優しい目線で心が暖まる作品

村岡 花子著 /『村岡花子童話集 たんぽぽの目』

NHK 連続テレビ小説「花子とアン」の主人公・村岡花子。表題作「たんぽぽの目」をはじめ、ドラマの中にも出てきた「みみずの女王」「なみださん」など、多くの昭和の子どもたちに親しまれた童話の名作を収録。美しい日本語で語られる話は、やさしく、なつかしい。子どもたちへの読み聞かせはもちろん、大人にも読んでほしい１冊です。

河出書房新社
児童書

食材も時間も無駄にしない新調理術

清水 真著/『大人でも身長が伸びる！やせる！背伸ばし体操』

プロ野球選手やサッカー選手などのトレーナーを経験した著者が提案する究極の姿勢改善術。誰でも簡単にできる「背伸ばし体操」は、猫背など姿勢由来のさまざまな問題を解消し、身長を伸ばす画期的な方法です。なんでも、腰痛にも効果があるとか。簡単で無理なく毎日続けられるメソッドを紹介するおすすめの１冊です。

講談社
教育・娯楽

町生涯学習センター図書室のご利用について
■開館時間 午前９時～午後５時　■休館日 毎週火曜日、年末年始　■貸出冊数・期間 １人３冊まで、８日間

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『きみの友だち』（重松 清著）

クラスの中にいる優等生にひねた奴。弱虫に八方美人。それぞれの物語がちりばめられた、「友だち」の本当の意味をさがす連作長編。

今月の案内人

松野 遥さん
〔糸田区〕

題の本の主人公は「きみ」です。その「きみ」を巡る様々な人間関係が描かれています。

人間関係というのはとても複雑で、時にはそれが原因でトラブルへと発展してしまうことだってあるでしょう。この本で「きみ」として登場する人物が置かれている立場・状況は様々です。クラスの人気者、孤立している子、転校生。それぞれがそれぞれに、簡単そうで難しい、そして複雑な「友だち」という存在との関係に日々苦労しています。

私、そしてみなさんもこれまで多くの友だちと巡り合い、これから先もたくさんの人との出会いがあるでしょう。この「きみ」たちが、ケンカ、いじめ、恋愛、友情、そして家族の愛を経験しながら「友だち」と共に大きく成長していく様は、私たち自身が友だちとよりよい関係を築くための、とっておきのヒントとなるはずです。ぜひ、みなさんも「きみ」といっしょに大きく成長してみてください。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？
町生涯学習センター図書室
TEL096-234-2447（内線331）
✉klg110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

◀トピック
西寒野秋の宮祭り

9月23日（火）西寒野の大祇神社で、西寒野区（遠山敏勝区長156世帯）宮祭りが開催され、多くの参加者と出し物で賑わいました。

ステージでは、同区の老人会や子ども会、消防団OB会など が行うラムネの早飲みやバナナのたたき売り、ちょんかけコマの演技などが盛りだくさん。毎年恒例となっている、区民の有志で結成した西寒野夢座の芝居では、『清水次郎長伝・お民の度胸』を熱演。浪曲・広沢虎造節で語られる、清水港の度胸満点な性格の「お民」が夫「清水次郎長」の子分である「森の石松」の危機を救う物語に、大きな歓声に包まれました。

▲「清水次郎長伝・お民の度胸」を演じる西寒野夢座

会場には家族連れなどが訪れ、同区ソフトボール部や婦人部による焼きそばや焼き鳥、綿菓子などを堪能しながら、多いに盛り上がりました。

◀公民館主催講座
親子クッキング教室

8月25日（月）町総合保健福祉センターで、「親子クッキング教室」を開催し、5組の親子がスイーツ作りに挑戦しました。

森田光樹子さん（岩下二区）を講師に、イギリスの伝統菓子のショートブレッドを米粉を使って調理。それぞれの親子が作業を分担しながら生地をこねて丸く成形し、アーモンドをのせて焼き上げました。

また、生クリームやアイスクリーム、季節のフルーツを使ったパフェ作りも挑戦。参加した親子は、上手にできたスイーツを試食しつつ交流を楽しみました。

▲楽しくショートブレッドの生地をこねて成形する参加者

▶公民館主催講座のご案内

「郷土の歴史を訪ねて」

●開催日時　10月21日（火）
集合　午前９時30分
●集合場所
町生涯学習センター
●講座内容
・東陽町の歴史的遺跡見学
・東陽交流センターせせらぎ
生姜の里見学
●参加料
・「東陽町石匠館」入場料　200円
・昼食代
※10月６日（月）から受け付けます
※定員25人
※定員になり次第、受け付けを締め切ります
●お申し込み先
町教育委員会公民館事務局
TEL096-234-2447（内線321）

●公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
TEL096-234-2447（内線321）
✉klg110@town.kosa.lg.jp

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●インターネットによる人権侵害

インターネットで他人の個人情報を流したり、誹謗（ひぼう）中傷や無責任なうわさを広めたりすることは、人権侵害につながります。

インターネットでは、簡単には自分の名前や顔を知られることなく発言することができます。そのため、匿名性を悪用した人権侵害が発生しています。最近では、いじめなどの問題をきっかけに、インターネット上にその事件の関係者とされる人たちに関して、ひどい言葉を用いた書き込みや不確かな情報に基づく無責任な書き込みがされたり、誤った情報に基づいて全く関係のない人たちを誹謗中傷する書き込みがされたりしています。

いったん掲示板などに書き込みをすると、その内容がすぐに広まってしまいます。また、その書き込みをネット上から完全に消すことは容易ではありません。誹謗中傷や他人に知られたくない事実、個人情報などが不特定多数の人々の目にさらされ、そのような情報を書き込まれた人の尊厳を傷つけ、社会的評価を低下させてしまうなど、被害の回復が困難なほど、重大な損害を与える危険があります。また、このような人権侵害は、名誉毀損（きそん）の罪に問われることもあります。

発信者が特定できないから何を書いても構わないと思うのは間違いで、捜査機関による発信者の特定は可能です。匿名の書き込みであっても、責任が生じ得るということを覚えておきましょう。

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
TEL096-234-2447（内線324）
✉klg110@town.kosa.lg.jp

栄養あゆみだより の話

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診断などに関する情報をリレー形式でご紹介します。

今月の「あゆみだより」は
古閑 裕子 保健師
廣津 めぐみ 管理栄養士

高齢者に多い「低栄養状態」になる前に、食生活を見直し改善することが重要です。古閑保健師と廣津管理栄養士が普段の食事で気を付けるポイントをお伝えします。

見た目で判断できない「低栄養状態」肉や色の濃い野菜を食べよう！

❖高齢者に多い「低栄養状態」

青年期から中年期には食べ過ぎに注意が必要ですが、高齢期はむしろ、タンパク質などの栄養不足が心配です。高齢者の皆さん、「最近、すっかり食が細くなった」ということはありませんか。

高齢者が「食事を食べられなくなる」理由には、

●身体的な理由
・病気、けがをした。
・かむ力や飲み込む力が衰えた。
・足腰が衰えて活動量が減った。

●精神的な理由
・配偶者や近親者の死亡などが原因で、気力がわかない。
・食べたいものがあまりない。

●環境的な理由
・1人暮らしで、あまり料理をしない。
・ほかの人と食事をする機会が少ない。
・料理の作り方が分からない。

など、さまざまなことが考えられます。

食欲が落ちたり胃腸の消化吸収力が衰えたりして、必要な栄養が取れないことを「低栄養状態」といいます。

❖あなたも「低栄養状態」になっていませんか

次の条件があてはまると「低栄養状態」の可能性があります。

①半年間で2～3キロの体重減少があった。
②体格指数（BMI）が18・5未満である。
※BMI＝体重（キログラム）÷身長（メートル）÷身長（メートル）
①と②に該当する人、または血液検査でアルブミン値が3・8グラム／デシリットル以下の人は要注意です。

❖低栄養を予防するために食生活を見直しましょう

1 肉、魚、卵を意識して食べる

高齢者は、積極的に肉を食べないと血管がボロボロになり、脳卒中、脳こうそくになる危険性が高まります。肉類の中でも1番のおすすめは、豚肉の赤身の部分です。網焼きにすると余計な脂を取らずに済みます。

鶏肉、鮭などもおすすめです。牛乳は1日にコップ1杯を飲むようにすると良いでしょう。

2 緑黄色野菜や海藻類を食べる

夏なら、ツルムラサキ、モロヘイヤ、水前寺菜、オクラ、ピーマン、アスパラガス、トマト、冬なら、ホウレンソウ、小松菜、ブロッコリー、ニラなど色の濃い野菜は、カルシウムや鉄分が豊富です。同じように、ヒジキ、ワカメ、コンブなどの海藻類にも多く含まれます。毎食片手1杯くらいの緑黄色野菜または、海藻類を食べるよう勧められています。骨折や貧血による寝たきりを防ぐためにも、ぜひ意識して食べましょう。

紹介した食材によっては、食べにくいものもあると思います。葉もの野菜は細かく切る、肉はそぎ切りにする、片栗粉でとろみをつけるなど、調理方法を工夫すると食べやすくなります。

「低栄養状態」は人ごとではありません。現代の「低栄養状態」は、見た目では判断できない場合が多く、太り気味でも貧血や栄養失調状態になってしまうこともあります。ご飯、味噌汁、漬け物だけで食事が終わり、甘い菓子や果物の食べ過ぎで食事の時間なのにお腹が減らず、肉、魚、卵、緑黄色野菜、海藻類などが食べられない…。そんなことはありませんか。

まずは、ご自分の食生活を見直してみましょう。不安な点がございましたらご相談ください。

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します

嶽本 梨愛（りあ） ちゃん（11か月）

父・啓介 さん　母・沙織 さん
（芝原区）

お兄ちゃん、大好き。
これからも仲良くしてね

奥村 佑（たすく） くん（11か月）

父・将也 さん　母・美千代 さん
（緑町区）

最近つたい歩きが
できるようになりました。
いつも笑顔です。

松野 颯太（そうた） くん（11か月）

父・誉弘 さん　母・えみ さん
（糸田区）

元気に育ってね♡

Child-Care

10月の子育て支援カレンダー

甲佐保育園　☎096-234-0186

園庭開放（土・日曜日、祝日を除く）

若草保育園　☎096-234-0013

3日（金）	ミニ運動会へ参加
17日（金）	遊具で遊ぼう

園庭開放（土・日曜日、祝日を除く）

竜野保育園　☎096-234-0519

園庭開放（土・日曜日、祝日を除く）

乙女保育園　☎096-234-3947

園庭開放（土・日曜日、祝日を除く）

緑川保育所　☎096-234-0789

園庭開放（土・日曜日、祝日を除く）

地域子育て支援センター（竜野保育園内）　☎096-234-0305

1日（水）	親子読書
3日（金）	粘土遊び
6日（月）	ブロック遊び
8日（水）	砂場遊び
10日（金）	製作遊び
15日（水）	誕生会（要予約）
17日（金）	散歩（ドングリ拾い）
20日（月）	ままごと遊び
22日（水）	戸外遊び
24日（金）	おやつ作り
27日（月）	積み木遊び
29日（水）	散歩（牛舎見学）
31日（金）	お絵かき

育児相談（月～金曜日）

体験保育（午前9時30分～正午）

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

10・11月の保健活動

●会場　町総合保健福祉センター

＋4か月児健診

10月16日（木）　午前9時

11月20日（木）　午前9時

＋7か月児健診

10月16日（木）　午前10時

11月20日（木）　午前10時

＋10か月児教室

10月3日（金）　午前9時30分

＋1歳6か月児健診

11月4日（火）　午後1時

＋2歳児よい歯の教室

11月28日（金）　午前9時30分

＋3歳児健診

11月4日（火）　午後1時20分

＋BCG予防接種

11月11日（火）　午後1時30分

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先
・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター
（町総合保健福祉センター内）
☎096-235-8711
✉klg113@town.kosa.lg.jp

お知らせ

町総合保健福祉センターでの各種予防接種について

町総合保健福祉センターでは、各種予防接種について助成などを行っています。

それぞれについて対象要件などがありますので、詳しいことはお気軽にお問い合わせください。

水痘（水ぼうそう）ワクチンの予防接種

▼対象者・接種回数

①接種時点で生後1～3歳未満の人（法定接種）

［接種回数　3か月以上（標準的には6か月～1年）空けて2回］

※初回接種時に3歳未満で、追加接種時に3歳以上となった場合、追加接種は有料となります。（任意接種）

②接種時点で3歳以上5歳未満で、これまでに水痘ワクチンの予防接種を受けたことがない人（平成26年度に限ります。平成27年度以降の対象者は①のみ。）

［接種回数　1回］

※②の対象者の接種期間は平成27年3月31日までですが、期間内でも5歳の誕生日を過ぎると対象外となります。

▼接種医療機関

町内医療機関（荒瀬病院・小屋迫医院・谷田病院）

成人用肺炎球菌ワクチンの予防接種

これまで全額自己負担の予防接種（任意接種）として実施されてきましたが、10月1日（水）から「予防接種法」に基づく定期接種となり、接種対象者には予防接種費用の一部助成を行います。

▼助成期限

平成27年3月31日（火）

▼対象者・接種回数

①平成26年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳・101歳以上の人

②接種時点で60歳以上65歳未満、および心臓・腎臓・呼吸器の機能障害およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害を有する身体障害者手帳1級程度の人

▼接種回数および料金

1人1回　4，000円

▼実施医療機関

町内医療機関（荒瀬病院・小屋迫医院・桃崎整形外科・谷田病院）

※町外の医療機関での接種には、町総合保健福祉センターで接種前に手続きが必要です。

高齢者のインフルエンザワクチンの予防接種

▼接種期限

12月27日（土）

▼対象者

①接種時で満65歳以上の人

②満60歳から65歳未満の人で心臓・腎臓・呼吸器の機能障害およびヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害を有する身体障害者手帳1級程度の人

▼接種回数および料金

1人1回　2，000円

▼実施医療機関

町内医療機関（荒瀬病院・小屋迫医院・桃崎整形外科・谷田病院）

※町外の医療機関での接種を希望する人は、町総合保健福祉センターで接種前に手続きが必要です。

風しんワクチンの予防接種費用助成

先天性風しん症候群から赤ちゃんを守るために、妊娠を希望する女性などに風しんワクチンの予防接種費用の助成を実施します。

▼助成期限

平成27年3月6日（金）

doctor

日曜当番医

月　日	当番医	電話番号
10月5日	荒瀬病院	096-234-1161
10月12日	谷田病院	096-234-1248
10月19日	桃崎整形外科	096-235-8111
10月26日	荒瀬病院	096-234-1161

tax

町税などの滞納処分（8月分）

種　別	件数・金額など
家宅捜索	0件
不動産差し押さえ	1件
債権差し押さえ	278,228円
交付要求	0件
公売代金	11,250円

お問い合わせ先一覧

- 町役場　096-234-1111（代表）
- 町教育委員会（町生涯学習センター）　096-234-2447（代表）
- 町総合保健福祉センター　096-235-8711
- 町水道管理センター　096-234-0755
- 町民センター　096-234-2459
- 町学校給食センター　096-234-0255
- 町老人憩いの家（㈳甲佐町社会福祉協議会）　096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合（クリーンセンター）　096-282-0688
- 上益城消防署　096-282-1955
- 御船警察署　096-282-1110
- 上益城広域連合　096-237-2891
- 県上益城地域振興局　096-282-2111
- 県御船保健所　096-282-0016
- 県庁　096-383-1111

※申請者書類を3月6日（金）までに提出ください。

▼対象者

①県風しん抗体検査事業において、予防接種が必要と判断された妊娠を希望する女性とその同居者

②過去の風しん抗体検査において、HI抗体価が16倍以下相当だった人のうち、妊娠を希望する人

▼助成額

7，000円

※接種費用により自己負担額が変わります。

※助成回数は、1人につき1回です。

▼お問い合わせ先

町総合保健福祉センター

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

休日窓口の各種証明書発行一時休止のお知らせ

10月13日（月）町役場庁舎および町生涯学習センターにおいて、停電を伴う電気設備の点検のため、正午から午後5時まで、休日窓口における各種証明書の発行を休止します。住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

なお、それ以外の休日窓口業務につきましては、通常どおりです。

▼お問い合わせ先

町総合保健福祉センター

☎096-234-1140（内線225）

✉klg102@town.kosa.lg.jp

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第17回～

「津志田の八幡宮」

津志田の津志田八幡宮は、平安時代の承平5（935）年に橘能貞の勧請により創立され、応神天皇、仲哀天皇、神功皇后が祭られています。

同社で受け継がれている大神楽は、熊本県の代表的な神楽である「肥後大神楽」です。神楽は『古事記』に記されている「天の岩戸の神話」が起源といわれます。

また、巫女（みこ）舞も伝統芸能として伝えられ、舞の名称は「豊栄の舞」です。この舞は全国各地で舞われているものです。

境内には、イチョウなどの樹齢を重ねた木々があり、中でも共に幹回りが5㍍を越える巨木で、「熊本県緑化推進保存木」に指定されたクスノキと、「ふるさと熊本の樹木」に指定されたクスノキがあります。

地元・津志田では、大祓（おおはらえ）での茅の輪づくりなどを受け継いで、同社を地域の拠り所として大切に敬うと共に、境内の一部をグラウンド・ゴルフ場として整備して、高齢者をはじめとした地域住民の憩いの場としても大切にしています。

■お問い合わせ先　町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線322）　✉klg110@town.kosa.lg.jp

お礼

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使わせていただきます。引き続き、多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼ご寄附いただいた皆様

お名前　ご住所

・益田　倫孝様　千葉県

▼平成26年度寄附金額合計

285，000円

（9月15日現在）

▼お申し込み・お問い合わせ先

町総務課

☎096-234-1140（内線224）

✉klg102@town.kosa.lg.jp

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量（8月分）

種　別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	200,780	△12,900	△2,950
資源ごみ	29,170	4,710	10,730
粗大ごみ	5,140	570	2,000
合　計	235,090	△7,620	9,780

※単位・㌔

traffic safety

交通事故件数

種　別	発生件数	前年比較
事故件数	8	（△18）
死　者	0	（△2）
傷　者	10	（△21）

9月15日現在（カッコ内は前年比較）

fire prevention

出動火災件数

種　別	発生件数	前年比較
家　屋	1	（0）
原　野	0	（0）
その他	0	（△1）
合計件数	1	（0）

9月15日現在（カッコ内は前年比較）

お知らせ

「障がい者等優先駐車場」を利用しましょう

県では、これまでのハートフルパス（障がい者等用駐車場）に加え、9月から新たに「障がい者等優先駐車場（青色案内表示）」の取り組みを始めました。

歩行が困難などのためにハートフルパス（駐車場利用証）をお持ちの人への優先スペースです。

ハートフルパス利用者で、駐車時に広いスペースが必要でない場合は、できる限り障がい者等優先駐車場のご利用をお願いします。皆さんの思いやり・譲り合いをお願いします。

▼お申し込み先
県福祉のまちづくり室
TEL 096-333-2202

職業適性カウンセリングを受けてみませんか

県では、職業選択の相談を希望する人を対象として職業適性検査を行っています。自己の適職の理解を深めるために、ぜひご利用ください。検査は事前予約が必要です。

▼実施場所
県しごと相談・支援センター

▼予約受付期間
・平日　午前9時～午後4時30分
・土曜　午前10時～午後4時30分
※日曜、祝日、年末年始は閉庁日です。
※費用は無料で検査所要時間は1時間程度です。

▼予約・お問い合わせ先
県しごと相談・支援センター
TEL 096-352-0895

開催

10月20日（月）～26日（日）は秋の行政相談週間

10月20日（月）～26日（日）は、秋の行政相談週間が全国一斉に開催されます。

町では、特設行政相談所を開設します。行政に対するご意見や困っていることなど、お気軽にご相談ください。

▼日時
10月22日（水）午前9時～正午

▼会場
町総合保健福祉センター

▼相談員
行政相談委員　藤本玉留さん（仁田子区）

▼お問い合わせ先
町住民生活課
TEL 096-234-1113（内線102）
✉ klg106@town.kosa.lg.jp

合同公売会を開催します

第9回熊本県南市町村合同公売会および平成26年度上・下益城郡合同公売会を開催します。

税金は町にとって大切な財源であり、納税は国民の義務です。

現在、町では町税の滞納者に対し、家宅捜索や預金調査などを行い、財産の差し押さえを実施しています。差押財産は公売して、滞納税に充てられます。

今回、税金滞納者から差し押さえた動産を公売する合同公売会を次のとおり実施します。

詳細につきましては町税務課までお問い合わせください。

第9回熊本県南市町村合同公売会

▼開催日時
10月5日（日）午前9時開場

▼会場
上天草市松島総合センター（上天草市松島町合津427-23）

▼出品予定数
約270品

▼参加団体
甲佐町、上天草市ほか11市町村

※詳細につきましては町公式サイトをご覧ください。

平成26年度上・下益城郡合同公売会

▼開催日時
11月8日（土）午前9時開場

▼会場
御船町スポーツセンター

▼出品予定数
約200品

▼参加団体
甲佐町、御船町、嘉島町、益城町、山都町、美里町

※滞納者が滞納税を完納した場合は、予告なく公売中止になることがあります。

▼お問い合わせ先
町税務課
TEL 096-234-1112（内線113・114）
✉ klg203@town.kosa.lg.jp
・町公式サイト
URL http://www.town.kosa.kumamoto.jp/

11月2日（日）に「介護の日inくまもと」を開催します

県では、11月11日（火）の「介護の日」にちなんで、「介護の日inくまもと2014～We♡介護なんさま来なっせ～」を11月2日（日）に開催します。

「笑いヨガ」や「クイズ介護

Sports

ソフトバレーボール＆バレーボール大会結果

■第20回ソフトバレーボール大会

▶優勝した乙女ダークホースチーム

●期日　8月21日（木）
●会場　町トレーニングセンター
●大会結果（8チーム）
優　勝　乙女ダークホース
準優勝　あゆの里
敢闘賞　大町

■第12回町内バレーボール大会

▶優勝した北部チーム

●期日　8月28日（木）
●会場　甲佐小学校体育館
●大会結果（4チーム）
優　勝　北部
準優勝　乙女

●主催　甲佐町バレーボール協会（芦原博幸会長）

甲子園」など楽しみながら介護について理解を深めませんか。

▼開催日　11月2日（日）午後1時開演
▼会場　市民会館崇城大学ホール
▼お問い合わせ先　県高齢者支援課
TEL０９６－３３３－２２１７

第6回森林自然観察・体験教室を産山村で開催

県では、森林の持つ多様な機能や自然の魅力を県民の皆さんに理解していただくため、第6回森林自然観察・体験教室を産山村の「ヒゴタイ公園キャンプ場」で開催します。

▼開催日　10月19日（日）午前10時～午後2時（受付・午前9時30分～）
※小雨決行
▼集合場所　産山村・ヒゴタイ公園キャンプ場
▼内容　秋の野の花の観察や、森林と草原の成り立ちを説明します。
▼募集定員　40人
▼参加費　５００円（保険料および資料代）
※小学生以下は３００円です。
▼申し込み方法　氏名、年齢、住所、電話番号を記載して、はがき、ファックス、メールでお申し込みください。電話での受け付けはしておりません。
▼お申し込み先　県森林保全課みどり保全班
〒８６２－８５７０（住所記載不要）
FAX０９６－３８５－６２７４
✉shinrinhozen@pref.kumamoto.lg.jp
▼お問い合わせ先　県森林保全課
TEL０９６－３３３－２４５０

r 募集

平成27年度「児童福祉週間」標語の募集について

（一財）こども未来財団では、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間（5月5日～5月11日）」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。

平成27年度の児童福祉週間に向けて、その象徴となる標語を募集します。詳細については、ホームページをご覧になるかお問い合わせください。

▼募集内容　元気でがんばる子どもたちを応援する標語や未来に向けての子どもたちからのメッセージとなる標語。
▼募集期限　10月20日（月）
▼お問い合わせ先　（一財）こども未来財団
TEL０３－５５１０－１８３３
URL http://www.kodomomiraizaidan.or.jp/

c くらし安全

10月11日（土）～20日（月）は全国地域安全運動です

10月11日（土）～20日（月）は、「みんなでつくろう安全・安心の街」をスローガンに、全国一斉の地域安全運動を実施します。

この運動は、地域住民、行政、各種団体、警察が連携して、犯罪のない安全で安心して暮らすことができる街をつくろうという運動です。

▼お問い合わせ先　御船地区防犯協会連合会（御船警察署内）
TEL０９６－２８２－１１１０

Sports

第12回ビーチボールバレー大会結果

▶優勝した田原チーム

●フリーの部（参加11チーム）
優　勝　田原
準優勝　SUPER JIN（仁田子）
第３位　シャンクス（宮内）

▶優勝したスウィートフィッシュチーム

●50歳以上の部（参加４チーム）
優　勝　スウィートフィッシュ（上豊内）
準優勝　横田A
第３位　上早川ファイヤーズ

●期日　８月27日（水）・28日（木）●会場　乙女小学校体育館●主催　町ビーチバレーボール協会（山下繁樹会長）

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ

●乙女小学校 全学年の展示作品

▶期間　10月１日（水）～31日（金）
▶主催　乙女小学校

▶９月の展示会　「私の出会った野鳥たち」

●お問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
TEL096 - 234 - 2447
✉klg110@town.kosa.lg.jp

甲佐町総合型地域スポーツクラブ

「I･YOU スポーツクラブ」 10月のアユスポ・カレンダー

多田 路央さん（大町区）
卓球教室

幅広い世代で楽しんでいます。いつでも気軽に来てください。

●スポンジテニス＆バドミントン
甲佐小体育館　月曜日　午後７時30分

●少年柔道
甲佐中武道館「甲心館」
月・水・金曜日　午後７時

●卓球
町生涯学習センター
水・金曜日　午後７時30分
※11日（土）、18日（土）午後６時からも行います

●サッカー教室
緑川グラウンド　木曜日　午後７時
甲佐小グラウンド　土曜日　午前９時
※４日（土）はお休みです

●バスケットボール教室
甲佐小体育館　火曜日　午後８時

●ジュニアバスケット教室
白旗小体育館　火曜日　午後７時30分

■お問い合わせ先
I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
（町教育委員会社会教育課内）
TEL096-234-2447（内線325）
✉klg110@town.kosa.lg.jp

ヒガンバナ（豊内）

うたごよみ　～神無月～

【短歌】

渡辺幸士 選

甲虫はくぬぎ林を後にして児と飛行機で沖縄へ発つ　森田　房恵

一同に家族が揃う幸せを感じて食す夏のひととき　緒方　明美

息子らと佐俣のお湯に久しぶり身も心をも軽くなりたり　赤星　文子

シュワッシュワー氷の溶ける音のして懐かしき味白きカルピス　赤星　延子

広島の災害テレビ画像見て吾が身を思い胸痛みおり　松本ぬい子

見舞いせし九十七の母の手を強く握りて「また来るからね」　塚本　俊子

亡き友に誘われ始めし歌作り貴方そちらで作ってますか　内田乃武子

各地での豪雨災害続きいてテレビ画像に手を合わせおり　上村やす美

「何食べる」「何でも良い」と返事されメニュー浮かばぬ老いの厨房　内田タミエ

いとけなく孫は歳月重ね来て今日の花嫁いたく目に沁む　塚原　暁益

何時脱ぎてゆきしか蝉の殻ひとつ蜘蛛の囲いに絡まりており　上村　かず

「何もかも無くしました」と老人は山に真向かい虚ろに語る　吉永由紀子

孫に児が生まれて吾は曾祖父か未だ青春のこころ戸惑う　渡辺　幸士

【川柳】

渡辺幸士 選

「見物」

特攻の知覧の手記を見て見たい　松本ぬい子

盆踊り見物客も踊り出し　布田　愛子

寝たままで外国見物テレビ旅　伊豆野ヤエ

海外で見物よりも土産買い　本田長久子

あゆ祭り浴衣の波に色気あり　早　彦喜

「計画」

息抜きを覚えて街が広くなる　清川みどり

計画は通院以外余白です　古閑チヨミ

恨めしい雨で計画お流れか　林　雅之

終の日のプランは神の手に委ね　渡辺　幸士

【肥後狂句】

北川直美 選

たったこしこ　思った票のはいっとらん　みどり

たったこしこ　がまだし足らんつけの来た　千　恵

たったこしこ　こっで一月暮さなん　梅　香

たったこしこ　隠れてジムに通いよる　光

たったこしこ　こら分くっとが大事ッぞ　葵

たったこしこ　春豆植えて実の入らん　公　美

たったこしこ　一口入ってしまうたい　陽　子

たったこしこ　孫が笑うた遺産分け　愛　子

たったこしこ　指輪ぐっさり売ったのに　レイコ

たったこしこ　一晩がつも無ァ賞与　産　賀

たったこしこ　魚籠覗くなら恥ずかしか　直　美

■お問い合わせ先　町教育委員会公民館事務局
TEL 096-234-2447（内線321）

ひとの動き（敬称略）
8月11日（月）～9月10日（水）

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
横田	上田 煌人（あきと）	男	真一
下横田	岩永 健照（けんしょう）	男	一寿
豊内	米村 悠臣（ゆうしん）	男	宙
早川	下原 孝叶（たかと）	男	武司
上早川	中馬 琉希（るき）	男	拓也
大町	田上 創（はじめ）	男	満

marriage ご結婚おめでとう

	住所	氏名
夫	大町	中村 陽一
妻	宇城市	宮川 真依
夫	白旗	新改 学
妻	芦北町	吉津 彰子
夫	熊本市	渡邉憲一郎
妻	横田	澤村美由紀
夫	早川	西口 翔
妻	熊本市	山下 明莉

condolence お悔やみ申し上げます

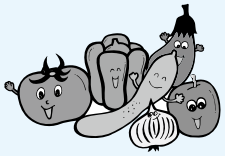
住所	氏名	年齢	世帯主
西寒野	永野富士男	89	ミツ子
東寒野	宮村キヨ子	89	キヨ子
白旗	岩永ヤエコ	103	益夫
早川	緒方 明利	87	英明
下横田	桑原 楠子	92	道昭
府領	中村フジエ	88	公明

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,354	△1
女	5,954	△9
計	11,308	△10
世帯数	4,280	5

平成26年8月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう！



レシピ提供：料理研究家　沼田峰子さん（北原区）

秋の味覚　栗ご飯

ご存知ですか？

クリには代謝がよくなるビタミンB1や、老化やがんの予防になるビタミンCを豊富に含んでいます。また、カリウムも多く含んでいるので、高血圧の予防も期待できます。

本町は意外にも、有名なクリの産地である山江村の生産量を大きく上回っているんです。

皆さんも町の秋の味覚であるクリをたくさん味わってください。

材　料（4人分）

米 ……2カップ
クリ ……300グラム
酒 ……大さじ1
しょうゆ ……小さじ1
みりん ……大さじ1
塩 ……小さじ3分の2

作り方

①米は、炊く1時間前に洗ってザルに上げておきます。
②クリをボウルに入れ、たっぷりの熱湯を張ります。湯が冷めるまでそのままにしておくと、皮が柔らかくなります。
③クリを渋皮ごと包丁でむき、水に10分ほどさらします。
④炊飯器に①と、水440cc，調味料をすべてを入れ、底から混ぜて平らにならし、クリを入れ炊き上げます。
⑤スイッチが切れたら10分ほど蒸らして、全体を大きく切るように混ぜてください。

※良いクリの選び方
ずっしりと重くて鬼皮が固く張りがあるもの、つやつやと光沢があるものを選びましょう。ペタンと薄いものより、ふっくらと丸みがあるものを選びましょう。
小さな穴が開いていたら、中に虫がいるかもしれないので注意しましょう。

編集後記

9月12日（金）に開催された第56回熊日金婚夫婦表彰式では、今年は38組の金婚を迎えられたご夫婦が表彰されました。

今年金婚式のご夫婦が結婚されたのは50年前の1964年、前回の東京オリンピックが開催された年です。女子バレーボールでは、「東洋の魔女」と呼ばれた日本が宿敵ソ連を倒し、金メダルを獲得しました。また、東海道新幹線が営業を開始し、当時は「世界で最も速い列車」として人気を集めました。

2人並んでの記念撮影では、大きく時代が変わった年にご結婚され50年間共に歩んできたご夫婦の間には、目には見えない強い絆（きずな）を感じました。

中には「並んで写真を撮るのは久しぶり」と照れ笑いを見せて恥ずかしがるご夫婦もいらっしゃって、私も自然と笑顔になりました。（み）

Kosa Style
こうさ スタイル

ジャズの楽しい音色に乗って心地良いスウィングを

「音色に合わせて心と体がスウィングするような、楽しいジャズを伝えたい」と語るのは、ジャズギタリストの渡辺隆介さん（上揚区出身）。

10月4日（土）町生涯学習センターで開催される「オータム・ジャズ・コンサート」に、ギターとサキソフォンとコントラバスのトリオで出演。ジャズの持つ豊かな響きの彩りで、甲佐町の輝く秋を包む。

脱サラ後にピアノバーを経営していた父親の姿を見て育った渡辺さん。「15歳のとき、そんな父親がかっこいい」と思って始めたギター。「20歳ごろからジャズを始め、のめり込んだ。父親の店に来るプロ演奏家を間近で感じる中で暮らしていたから、プロへの道は現実的な仕事として自然に見えていた」と振り返る。2005年には音楽を追及するためカナダへ渡り、ビッグアーティストの演奏に触れて1年間滞在。帰国後は、さまざまなセッションに参加しながらジャズを学んだ。

「昔ながらの、50～60年代のジャズが好き。カウント・ベイシーなどが表現する楽しさやハッピーがいい」と渡辺さん。ジャズギターの伝統に則ったアコースティックの持つ自然な音色で、心地良く歌うスウィングが演奏の持ち味。

現在、九州各地を中心に精力的に演奏活動に励む。「プロになると、東京や海外を目指して出て行く人が多い。自分は、地方にいても一流の人とツアーを開催したりCDなどを制作したりして、芸術家や舞台に立つ人たちが地方でも活躍できるようにという思いで活動している」と語る。

「ジャズには筋書きがない」と話す渡辺さん。「ほかのジャンルの音楽にはない、即興性の高いアドリブ演奏や目での合図で通じ合う演奏者同士の掛け合い、会場の雰囲気に合わせた選曲や演奏など、その瞬間にしかないジャズの音色の面白さ、楽しさを感じてほしい」と魅力を語る。

渡辺 隆介さん
Watanabe Ryusuke

〔上揚区 出身〕

わたなべ りゅうすけ / プロジャズギタリストとして県内を中心に九州各地で演奏活動を行い、昔ながらのジャズギターの豊かな音色を届ける

広報こうさ
2014年（平成26年）10月号
通巻543号

発行・甲佐町　発行人・甲佐町長 奥名克美　編集・企画課　住所・〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内719番地4　TEL096-234-1154
URL・http://www.town.kosa.kumamoto.jp/　E-mail・klg104@town.kosa.lg.jp　※本紙は再生紙を使用しています。